

品種解説：「ユメコガネ」

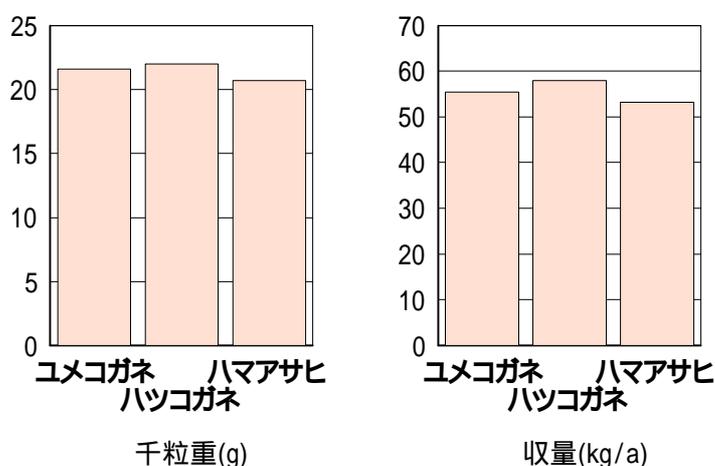
概要：本品種の耐冷性は「ハツコガネ」「ハマアサヒ」より明らかに強く“極強”である。名前の意味は、“夢にまで見た黄金色した耐冷性の米。また夢を乗せた期待の米”を表現する。

1. 来歴の概要

多収かつ良質、良食味で耐冷性に優れた北海道の中生品種である「ゆきひかり」を母とし、極早生で多収の「ハツコガネ」を父として、1986年に青森県農業試験場藤坂支場で交配された。1992年に「ふ系167号」の系統名が付けられ、1995年に水稻農林334号として登録された。

2. 形態的特性

- ・ 稈 長：「ハツコガネ」並みで短稈である。
- ・ 穂 長：「ハツコガネ」並みかやや長い。
- ・ 穂 数：「ハツコガネ」よりやや多い。
- ・ 粒 大：「ハツコガネ」並みで“中”であり、千粒重は「ハツコガネ」並みかやや軽い(下図参照)。



3. 生態的特性

- ・ 出穂期・成熟期：「ハツコガネ」より1日程度遅い、極早生である。
- ・ 収 量：「ハツコガネ」よりやや劣るが、低温年次では「ハツコガネ」より障害不稔が少なく、気象変動に対して安定性が高い(上図参照)。
- ・ 耐倒伏性：「ハツコガネ」並みに強い。
- ・ 葉いもち抵抗性：「ハツコガネ」並みである。
- ・ 穂いもち抵抗性：「ハツコガネ」並みである。
- ・ 耐冷性：「ハツコガネ」「ハマアサヒ」より明らかに強く“極強”である。
- ・ 穂発芽性：「ハツコガネ」「ハマアサヒ」より発芽しにくい。

特 性	ユメコガネ	ハツコガネ	ハマアサヒ
耐冷性	極強	やや強	やや強
耐倒伏性	やや強	やや強	やや強
葉いもち抵抗性	中	中	弱
穂いもち抵抗性	中	中	弱
穂発芽性	やや難	中	中

4．品質・食味特性

- ・玄米は色沢が淡く、腹白の発現は少ない。
- ・品質は「ハツコガネ」より良く“上の下”である。
- ・食味は「ハツコガネ」「ハマアサヒ」より優り“中の上”である。

5．適地等

- ・寒冷地北部の冷涼地帯、その他寒冷地の山間地及び関東以西の山間冷涼地。

6．栽培上の注意

- ・初期の生育量がやや不足気味なので、健苗育成や本田の水管理に努め、初期成育の確保を図ること。
- ・いもち病圃場抵抗性は強くないので、基本防除を励行すること。
- ・耐冷性は“極強”であるが、低温時には深水灌漑を行うこと。
- ・白葉枯病抵抗性は“弱”なので、蒸発地帯での作付けは避けること。

< 参考資料 >

農林水産省農林水産技術会議事務局（平成7年9月）：平成7年農林水産省育成農作物新品種（夏作物・園芸作物）。